4 1 P		等専門学校	交 開講年度	平成29年度 (2	2017年度)	授	業科目	ディジタ	7ル回路 2	
科目基礎	門育報	Т.			Tau—— ::		T · ·			
科目番号		130305			科目区分		専門 / 必修			
授業形態 講義						位数	履修単位: 1			
開設学科電子制御工			印工学科		対象学年		3			
開設期前期					週時間数	2				
				入門第2版 浜辺隆二 著 (森北出版)						
旦当教員		眞鍋 知	<u>ኢ</u>							
到達目標	Ę									
順序論理回 順序論理回	国路の基本の 国路の設計	となる各種 : 手順に従い、	フリップフロップ <i>の</i> 特性・応用・入力	動作を理解できるこ 方程式を求めること	と。 ができること。					
ルーブリ	Jック									
			理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安 未到達レイ				ベルの目安	
評価項目1			の力だけで, 打	教科書やノートを見ずに自分自身 の力だけで,指定された回路が設 計できる.		教科書やノートを確認しながら , 回路設計ができる.		回路を設	回路を設計できない.	
評価項目2			教科書やノートの力だけで、ラ	教科書やノートを見ずに自分自身 教科書やノ のカだけで、ディジタル回路の専 , ディジタ			凹崎の等门用品,符 ナンどが		タル回路の専門用語, 特徴 説明できない.	
			11/1700,付扱/	アニン ミュ ていめ・	徴などが説明できる. '''					
		百미니까	 見 <i>で</i>		1			<u> </u>		
		頁目との 隊	計 介							
<u> </u>										
教育方法	等									
概要 しこと、さら			ル回路1の組合せ論理回路を発展させた、順序論理回路の基礎としてのフリップフロップの基本動作を理解する らに遷移表、遷移図およびタイムチャートなどを描くことから出力論理式を求めて、順序論理回路のゲート回 成する設計手法を修得することを目標とする。							
 受業の進 <i>め</i>	方・方法	講義形式								
主意点 本科目の		う。 本科目の		は、英文を読むのが						
受業計画	Į									
		週	授業内容			週ごとの到達目標				
		1週	組み合わせ論理と	プフロップ	2					
	1stQ		(FF)記憶素子	<i>tt</i> = 1.						
		2週	状態遷移表と遷移		2					
		3週	SR-FF、ゲート回	特性力桂式	1,2					
		4週	JK-FF		1,2					
		5週	T-FF		1,2					
		6週	D-FF			1,2				
		7週	タイムチャート		1,2					
前期		8週	中間試験		1,2					
		9週	試験返却/復習		1,2					
		10週	遅延とエッジトし		2					
		11週	マスタースレーフ		2					
1				状態遷移表と遷移図からの回路設計(3			·			
	2ndO	12週	+		進カウンタ)	1,2				
	2ndQ		状態遷移表と遷移 非同期型カウンタ		進カウンタ)	1,2 1,2				
	2ndQ	12週	非同期型カウンタ	7の設計 I 7の設計 I	進カウンタ)					
	2ndQ	12週 13週	非同期型カウンタ	7の設計 I 7の設計 I	進カウンタ)	1,2				
	2ndQ	12週 13週 14週	非同期型カウンタ	7の設計 I 7の設計 I	進力ウンタ)	1,2				
 モデルコ		12週 13週 14週 15週 16週	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、	7の設計 I 7の設計 I シフトレジスタ	進力ウンタ)	1,2 1,2 2				
		12週 13週 14週 15週 16週 トユラム <i>0</i>	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到	7の設計 I 7の設計 I シフトレジスタ 達目標		1,2 1,2 2			到達レベル	授業週
分類]アカリ= 	12週 13週 14週 15週 16週 トュラムの 分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到) 学習内容	7の設計 I 7の設計 I 2の設計 I シフトレジスタ 菫目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で	· 票 記号を使って図え きる。	1,2 1,2 2 1,2	組み合わせ評	論理回路	到達レベル 4	授業週
分類]アカリ= 	12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到) 学習内容	7の設計 I 7の設計 I 2の設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS	· 票 記号を使って図え きる。	1,2 1,2 2 1,2	組み合わせ証	計理回路		授業週
分類]アカリ= 	12週 13週 14週 15週 16週 トュラムの 分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到) 学習内容	7の設計 I 7の設計 I 2の設計 I シフトレジスタ 菫目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで	1,2 1,2 2 1,2 1,2		論理回路	4	授業週
)類 厚門的能力]アカリ= 分野別の 門工学	12週 13週 14週 15週 16週 トュラムの 分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到) 学習内容	アの設計 I アの設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で 論理式から真理値	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで	1,2 1,2 2 1,2 1,2		海理回路	4	授業週
分類 専門的能力	プログラング プログラング プログラング プログラング プログラング プログラング プログラング かいまれる かいままれる しゅう	12週 13週 14週 15週 16週 トュラムの 分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、前期末試験 学習内容と到 学習内容	7の設計 I 7の設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で 論理式から真理値 論理式をMIL記号ま	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで またはJIS記号を係	1,2 1,2 2 1,2 1,2	示できる。		4 4 4	
分類 専門的能力 評価割合	分野別の門工学	12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 分野 の専 電系分里	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到 学習内容 電子 情報	アの設計 I アの設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で 論理式から真理値 論理式をMIL記号。	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで またはJIS記号を仮	1,2 1,2 2 1,2 1,2 たされた きさる。 使って図		その他	4 4 4 4	t
分類 専門的能力 評価割合 総合評価割	カ野別の 門工学 記 調合 80	12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 分野 の専 電気分野	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到 学習内容 電子 情報 発表 0	アの設計 I アの設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で 論理式から真理値 論理式をMIL記号ま	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで またはJIS記号を依 態度 0	1,2 1,2 2 1,2 1,2 たされた きさる。 をって図	示できる。	その他 20	4 4 4 合言 100	t
モデルコ 分類 専門的能力 評価割合 総合評価割 基礎的能力 専門的能力	カ野別の門工学 試別合 80 1 20	12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの 分野 の専 東系分里	非同期型カウンタ 非同期型カウンタ レジスタの設計、 前期末試験)学習内容と到 学習内容 電子 情報	アの設計 I アの設計 I シフトレジスタ 達目標 学習内容の到達目 MIL記号またはJIS を論理式で表現で 論理式から真理値 論理式をMIL記号。	票 記号を使って図え きる。 表を作ることがで またはJIS記号を仮	1,2 1,2 2 1,2 1,2 たされた きさる。 使って図	示できる。	その他	4 4 4 4	t